

## 背景 & 課題

### ▼北海道函館市を「実践型の海洋教育のモデル拠点」とするプロジェクト

三方を海に囲まれながら、海水浴場や水族館が無く、子どもたちが海に親しむ機会がほとんど無かった函館市。当法人は2019年度より、函館朝市でのミニ水族館運営や、漁業者、研究者、市民等との協働による講座の企画運営により、海洋教育の機会を提供してきました。2022年度は以前よりも低予算で既存の取組みを継続しつつ、新しい海洋教育講座の実施や、新規の団体との連携に取り組みました（予算：2021年度2988万円→2022年度2433万円）。


### 2022年度実施内容のまとめ

**実施①**



**【ソーシャル水族館づくり】**  
函館朝市ミニ水族館がNHK北海道で5分間特集自主講座に加え、国交省、学校、ホテルとの連携も

**実施②**



**【海釣り自然塾】**  
海洋教育の専門家、釣り研究者との協働で、地元の海を生かしたユニークな小学生向け講座を企画運営

**実施③**



**【海×映像の発信者育成】**  
大学教授、水中カメラマンと高校生向け講座を企画運営。NHK・道新の水中カメラマンと一緒に潜って撮影、紹介。

### 量的成果（事業の拡がり）

- ① メディア露出実績：NHK北海道6回（のべ放映19分）、UHBで6分特集、新聞20回以上。The Economistからも取材。地元ケーブルテレビで45分特集。
- ② 5月～3月の講座実施回数はこのべ17回。メディアリリースや、小学校を通じたチラシ配布により、募集定員180人に対し、1006人から応募が集まる。
- ③ 講座参加者からの参加料収益が増加。  
2021年度12,000円→2022年度117,000円。

### 質的成果（次なる展開への芽）

- ① 海釣り自然塾…4種類の運営マニュアルが確立、来年は今年よりも予算減での実施が可能に。2023年の新展開として教師向けの実施も構想。
- ② 海×映像の発信者育成…水中撮影のプロや大学教授などと講座を企画し、北大や漁協の協力を得て運営。講義資料や運営マニュアルが整った。2023年度は予算減・参加者増の実施が可能に。
- ③ 新連携先：国交省、札幌駅直結ホテル、東海大学海洋学部。「DAIWA」からの物品協賛、朝市ミニ水族館の運営一部自走化などが実現。

### 2022年度 課題点

- ①参加者の幅が狭い（小学校卒業後に海洋教育を受けられる場が少ないため、継続的な海とのつながりが生まれづらい）
- ②朝市水槽機器の老朽化などによるトラブル増大
- ③イベントや講座が点在していてまとまりない。開催時期が夏に集中

### 2023年度 改善点

- ①参加者、連携先の幅を広げる
- ②朝市水槽ろ過機を入れ替え、遠隔監視システム導入
- ③講座開催時期を分散。シンポジウム開催

## 報告資料



国土交通省北海道開発局と連携し、  
新規講座「みなと見学会」を実施



海釣り自然塾参加児童たちが釣ったマフグを  
函館朝市ミニ水族館に展示



盛岡市立大宮中学校の生徒たちが修学旅行で、  
朝市ミニ水族館を訪問



「海釣り自然塾」にて、釣具ブランド「DAIWA」を事業展開する  
グロープライド社より、釣具、救命具、講師派遣の協賛を得た



「海のYouTuber養成講座」では、過去の活動で関係性を  
築いた北海道大学から、プールや研究所前浜を借用。  
学者やプロの協力を得て、事前講義や、スノーケリング、水  
中撮影など技術実習を含めたレベルの高い講習を実現



札幌駅直結のホテルセンチュリーロイヤル支配人より、  
「青のりを通じた海の学び提供」に賛同し、協力したいという  
申し入れあり。11月の1か月間、連携イベント実施。

# メディア露出

## 各メディア露出

◇TV放送回数 計**9**回

◇イベント数 **17**回

◇新聞掲載回数 計2社**20**回

◇WEB転載 計**312**回

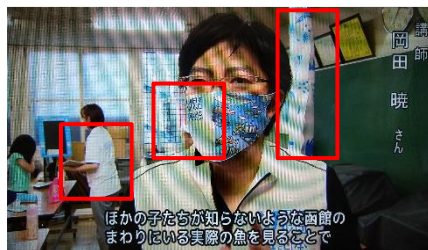
## テレビ露出 計9回

イベント	媒体名	番組名	放送日
海のYouTuber養成講座	NHK	全道ニュース	7月24日
海のYouTuber養成講座	NHK	道南ニュース	7月25日
函館朝市ミニ水族館	NHK	ほっとニュース北海道	8月17日
函館朝市ミニ水族館	NHK	おはよう北海道	8月18日
お魚お絵かき教室	STV	道南スケッチ	8月27日
天然青のりメニュー試食会	UHB	みんテレ	11月2日
海のYouTuber養成講座	NHK	全道ニュース	12月6日
海のYouTuber養成講座	NCV	「海のYouTuber養成講座」完成映像発表会	1月2日
函館朝市ミニ水族館	NHK	道南ニュース	2月10日

### NHK 全道/道南



### STV「道南スケッチ」



### NHK「ほっとニュース北海道/おはよう北海道」



### NHK「ほっとニュース北海道」



# 新聞露出①

## 新聞掲載回数 計20回

イベント	媒体名	掲載日
①海そうの森たんけん	函館新聞	5月11日
②海そうの森たんけん	北海道新聞	5月18日
③海のYoutuber養成講座	北海道新聞	5月27日
④函館朝市ミニ水族館	北海道新聞	5月28日
⑤子ども海そうアカデミー	函館新聞	5月29日
⑥海のYoutuber養成講座	函館新聞	7月23日
⑦海のYoutuber養成講座	北海道新聞	7月29日
⑧みなと見学会	函館新聞	7月30日
⑨みなと見学会	北海道新聞	8月2日
⑩水族館飼育員体験	北海道新聞	7月30日
⑪水族館飼育員体験	函館新聞	8月2日
⑫お魚お絵かき教室	函館新聞	8月20日
⑬お魚お絵かき教室	北海道新聞	8月26日
⑭第2回海釣り自然塾	函館新聞	9月4日
⑮第2回海釣り自然塾	北海道新聞	9月8日
⑯函館朝市ミニ水族館	北海道新聞	10月15日
⑰青のり給食	函館新聞	10月23日
⑱天然青のりメニュー提供試食会	北海道新聞	11月2日
⑲函館真昆布展	函館新聞	11月13日
⑳函館朝市ミニ水族館	北海道新聞	2月10日

### ① 海そうの森たんけん 函館新聞 5月11日



「親子で海の森探検」志海苔町近郊で開かれ、6年生の親子らが、天然マコンブなどの海藻を観察し、食文化を切り口に海洋教育などを実施する一般社団法人「ロコモンズ」が主催する「海そうプロジェクト」が、日本財団「海」プロジェクトの一環として、7日に実施。函館市海苔産業支所が許可を得て、日ごろ立ち入ることができない場所が開かれた同イベントは、親子が生い茂るマコンブ、ブ、シシギや海藻を間近に観察。さらに、海藻の森に暮らすヤカリやカニ、アマノエビなどの生き物も確認し、生命を育む海の大切さを実感した。

色や形で異なる海藻は、生きていくための海藻を「見られてよかった」と話した。市立志海苔小学校の児童も「海藻の森は、自然の恵みを感じた」と話した。市立志海苔小学校の児童も「海藻の森は、自然の恵みを感じた」と話した。

### ② 海そうの森たんけん 北海道新聞 5月18日



### ③ 海のYoutuber養成講座 北海道新聞 5月27日



### ④ 函館朝市ミニ水族館 北海道新聞 5月28日



メディア露出  
BOXはこちら

イベント名・ニュースタイトル	転載メディア数
海そうの森たんけん	21
子ども海藻アカデミー	24
函館朝市ミニ水族館春のリニューアル	29
みなと見学会	21
海のYouTuber養成講座参加者募集	22
海のYouTuber養成講座水中撮影	23
水族館飼育員体験	24
海釣り自然塾	20
お魚お絵かき教室	21
海釣り自然塾第2弾	16
函館朝市ミニ水族館秋のリニューアル	22
青のり給食	21
天然青のりメニュー試食会	21
函館朝市ミニ水族館冬の企画展示	27
合計	312

2022-08-01 19:18



## 高校生向け海洋教育プログラム「海のYouTuber養成講座」参加生徒が、水中撮影に挑戦しました！

海と日本プロジェクト広報事務局

2022年7月23日（土）・24日（日）【北海道函館市】

一般社団法人Blue Commons Japan（ブルーcommonsジャパン/旧はこだて海の教室実行委員会）は、2022年7月22日・23日の二日間、「海のYouTuber養成講座」参加生徒による水中撮影を実施しました。この講座は、次世代へ海を引き継ぐために、海を介して人と人とがつながる“日本財団「海と日本プロジェクト」”の一環です。



### 講座概要

講座名称：「海のYouTuber養成講座～海と日本プロジェクト～」

実施概要：高校生が地元の海について学び、オリジナル映像企画を立ててから